

# サイクルツーリズムを八王子で！

Cycle tourism in Hachioji City

EE-Q1-G5

原豪琉<sup>1)</sup> 加藤克哉<sup>1)</sup> 高橋燎平<sup>1)</sup> 吉橋駿<sup>1)</sup> 福井駿<sup>1)</sup> 青木慎一郎<sup>1)</sup> 佐藤海斗<sup>1)</sup>  
 指導教員 湯沢友之<sup>1)</sup>、坪川宏<sup>1)</sup>

1) 東京工科大学 工学部 電気電子工学科

キーワード：サイクルツーリズム、エコツーリズム、e-Bike

## 1. 概要

高尾山以外の観光地をより活性化するためにはサイクルツーリズムを実施することが適していると考えた。日常的にサイクリングを行う人向けのプランと日ごろからサイクリングをしない人向けのプランを別々に用意することで、ターゲット層それぞれに適したサイクルツーリズムを提供できるようにした。2つのプランを連立することによって継続的かつ加速度的に八王子市全体に観光客が増えると見込み、観光スポットや休憩箇所、走りやすい道を現地調査した。

## 2. 現状の観光客数

八王子市では、高尾山を中心に多くの観光客が訪れる。図1に八王子市の年間観光客数の記録を示す。

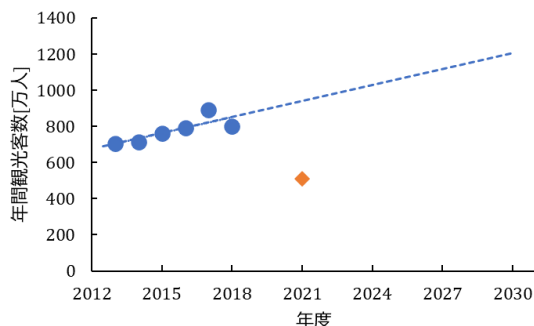


図1 観光客数推移と従来予測と現状の比較<sup>[1,2]</sup>

2018年以前の増加率から2030年の観光客数を予測すると約1200万人となる。しかし、2023年現在もコロナ禍等の影響は大きく、この予測が成立

するとは考えにくい。加えて高尾山以外の場所へ足を運ぶ観光客はあまり多くない。市内には歴史遺産や自然豊かな公園など魅力的な観光地が多く存在する。2021年の年間観光客数はおよそ500万人であり、ここ数年においては観光客数の増加は伸び悩んでいるものと考えられる。そこで、公共交通機関の増設に頼らず観光を発展させる可能性を秘める自転車の活用を提案する。

## 3. 現状調査について

サイクリングに興味を持っている人がどれほどいるのか、どのようなコンテンツや仕組みがあればサイクリングをしたくなるのかなどを確認するため東京工科大学電気電子工学科3年生やグループメンバーの知人などに対してメールを送信し、Googleフォームを用いてアンケートを実施した。このアンケートには全体で51件の回答を得た。質問内容は次の(1)から(3)の通りである。

- (1) スポーツ自転車でサイクリングに行くか
- (2) サイクリングに興味があるか
- (3) サイクリングをしたくなる仕組み

また、いくつか八王子市内の観光スポットについて、駐輪場の状況をはじめとした現地の環境を調査した。主な調査項目は以下(4)(5)である。

- (4) 調査場所の観光地としての機能
- (5) 駐輪場等の設備状況

次にアンケート調査の結果を示す。(1)の調査で

は80%以上の方がロードバイクなどでサイクリングをしていなかった。その一方で(2)の回答では47%の方がサイクリングに興味があることが明らかとなった。つまり、サイクリングを行わない人の約半分がサイクリングに興味があるということである。(3)の結果を図2に示す。この結果ではサイクルツーリズムに対する関心の高さが表れた。

|                |       |
|----------------|-------|
| スポーツ自転車の貸し出し   | 27.1% |
| 電動アシスト自転車の貸し出し | 20.8% |
| ルート設計が難易度別     | 14.6% |
| 観光スポットを経由するルート | 47.9% |
| グルメを楽しめるルート    | 22.9% |
| サイクリング完走で景品    | 37.5% |
| ルート設計が目的別      | 2.1%  |
| ルートの景観がよい      | 2.1%  |
| 道路整備が十分        | 2.1%  |

図2 サイクリングをしたいと思うサービスや仕組み

観光スポットを経由するサイクリングコースの存在やサイクリング完走で景品や称号がもらえることでサイクリングをしたいと思う人が多いことが分かる。また、(4)(5)の調査として八王子城跡、滝山城跡、片倉城跡など多くの場所を訪れたが駐輪場のある場所が少ないことが分かった。駐輪場がある場合でも、自立スタンドを有しないロードバイク等が止められる環境ではなかった。しかし、調査対象とした場所の多くはトイレやベンチなどの休憩に必要な設備はあるため、十分な活路があると考えている。

#### 4. 解決策の提案と予想される効果

サイクルツーリズムによって八王子市広域に観光客の行き先を広める。具体的な方法として、2つの柱を立てる。1つ目の柱は日常的にサイクリングをするような人たち(ロード乗り)向けのイベント、2つ目は日ごろからサイクリングをしない人(一般)向けのイベントである。先に一般向けのイベントについて説明する。このイベントで最も重要なのは「気軽に参加できるサイクリング」という事である。そのため、電動アシスト機能を有するようなスポーツ自転車(e-Bike)を使用する。加えて、走行しやすく、観光スポットを経由するようなルート

を設定する。観光地とルートの例を示す。



図3 サイクリングコースの例と観光スポット

ルートは複数設定して、参加者が距離や勾配の程度から自身にあったルートを選ぶことができる。また複数のルートについて人気投票を実施し、最人気ルートを決定する。ここで複数設定されるルートはもう1つの柱であるロード乗りの人に向けた「観光ルート作成イベント」で作成する。最人気ルートの作成者には称号を与え表彰を行う。これを季節に1度程度実施する。このようにすることで、ロード乗りの人と一般観光客の人数増加を見込めると考えている。

#### 5. まとめ

八王子市を訪れる観光客は高尾山に集中している。そこで、我々はサイクルツーリズムを提案する。日常的にサイクリングをするような人たちと、それ以外の人それぞれにあったプランを立てる。経験度ごとのサイクリングルートによって観光客の行き先を八王子市内広域にすることが可能になるのではないかと考えている。

#### 参考資料

- [1] 八王子市、八王子未来デザイン 2040  
[https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/005/001/p031827\\_d/fil/2040honsatu.pdf](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/005/001/p031827_d/fil/2040honsatu.pdf)  
 令和5年2月9日掲載、2023年5月29日閲覧
- [2] 八王子市、八王子基礎データ集 オープンデータ一覧 92. 市内観光地への観光客数の推移(観光課)  
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/contents/open/002/p030605.html>  
 令和5年4月1日掲載、2023年5月31日閲覧